

# 令和8年2月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和8年2月25日(水) 午後3時00分～午後4時00分

2 場 所 氷見市役所 201災害対策室

3 出席者 有島洋之教育長、湖東政俊職務代理者、圓山留美委員、佐原孝信委員、菊池響委員

4 職務のため出席した事務局員

萩原教育次長、西参事、尾山学校教育課長、小谷文化振興課長(兼博物館長、図書館長)、  
長谷川スポーツ振興課長、森谷教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、  
藪下学校教育課長補佐、砂山文化振興課長補佐、田邊スポーツ振興課長補佐

5 協議事項

## 【付託案件】

- (1) 案件第1号 令和8年度当初予算(案)について(学校教育課ほか)
- (2) 案件第2号 令和7年度3月補正予算(案)について(学校教育課ほか)
- (3) 案件第3号 氷見市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画(案)  
について(学校教育課)
- (4) 案件第4号 氷見市民柔剣道場条例の廃止について(スポーツ振興課)

6 会議内容

- (1) 教育長の挨拶
- (2) 教育長の報告

令和8年1月30日(金)から2月25日(水)までの教育委員会所管事項を、有島教育長が報告した。

(3) 協議内容

案件第1号、案件第2号は尾山学校教育課長が、案件第3号は西参事が、案件第4号は長谷川スポーツ振興課長が説明し、それぞれ可決された。

(4) 3月の行事予定を各所属長等が説明した。

[質疑応答]

## ・業務量管理・健康確保措置実施計画について

委 員 員 資料の「学校と教師の業務の3分類」の中に、「学校以外が担うべき業務」や、「教師以外が積極的に参画するべき業務」などがあるが、資料の令和8年度の主な事業の中にスクール・サポート・スタッフの費用が計上されている。このスクール・サポート・スタッフの配置が教員の負担を軽減することになるのか。

事務局：お見込みのとおりである。各学校にスクール・サポート・スタッフが年間800時間配置されている。それ以外にも、スタディ・メイトや学習サポーターなどが配置されている。学習サポーターは大きな学校または複式学級がある学校に配置されるが、多くの支援員を配置することで教員の働き方改革を進めていきたいと考えている。

委員：人材確保はどのようにしているのか。

事務局：教員 OB の方に多くのご協力をいただいている。退職される折にはお声がけさせていただいている。

委員：「学校と教師の業務の3分類」の「学校以外が担うべき業務」の中に「保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応困難な事案への対応」とあるが、それはどんなところに対応をお願いするのか。

事務局：業務量管理・健康確保措置実施計画は計画案の中にも書かせていただいたが、相談窓口を教育委員会内に設置したいと考えている。教育委員会の責任において、苦情等に対応できる体制を令和11年度までには構築したい。

事務局：今年度中に策定し、第1回学校長会議において各学校長に提示し、4月には学校運営協議会やPTA 総会で説明したい。

事務局：皆様からご意見をいただければありがたい。案の中の目標値を設定する際には検討を重ねた。

事務局：「心のセルフチェック」は目標値を高いものとした。「仕事や生活の満足度」は全国平均が60%であるところ、本市では80%という現状であるために高くなっている。

事務局：お気付きの点があれば、後日でも良いのでご連絡いただきたい。

(5) 4月の定例教育委員会議の開催を4月30日(木)午後3時に決定した。

(6) 閉 会 午後4時00分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員